

最優秀賞

こげすぎた アジでも母の 愛のあじ

帯広市立翔陽中学校

小椋 玲菜さん

【講評】

「愛のあじ」で象徴されている言葉が、今の世の中に欠けている本当の愛情を表現するために、川柳の中でとても効いていました。作者の人柄にもじみ出ており、とても親しめ、身に沁みる、そんな句でした。和やかで楽しく、シヤレも生き生きしている句として詠むことが出来そうだったといった評価も多く、選者3人も好印象を持ちました。

優秀賞

お金より レシートたまる 劣等感

帯広市立翔陽中学校

落合 愛子さん

【講評】

お金の使い方の反省を体験談風に句にした作品です。へしまつた」という冷や汗が笑いととも湧き出てきます。しかも、誰もが経験したことがある、そんな川柳に仕立て上げたところにこの作品の価値がありそうです。上手な作品でした。

佳作

ダイエット 成功したのは 財布だけ

帯広市立翔陽中学校

水野 紘斗さん

彼女つれ 歩くATMと 化した俺。

帯広市立翔陽中学校

内藤 琉杏さん

これウケない？ 軽い気持ちが大炎上

帯広市立帯広第四中学校

北守 瑞希さん

第10回消費者川柳コンクール入選作品（学生部門）

最優秀賞

立ち位置は 人間よりも スマホ上

帯広農業高等学校 吉田 凜々子さん

【講評】

現代人、特に若者はスマホを自由自在に使いこなします。しかしながら、一方で、この小さな機械に完全に支配されてしまっている、そんな一面が昨今、様々な報道からも見えてくるところです。本作品はそんな現状について風刺を利かせて詠み上げています。特に「立ち位置」という言葉に表現の質の高さが伺えそうです。立派な作品だと感じました。

優秀賞

「いいね」来い！ 狙ってふざけて 大炎上

帯広農業高等学校 山本 裕梨佳さん

【講評】

他者から評価されたいという思いは誰しもが持つ欲求でしょう。最近はその形を変えながらどんどんエスカレートしているようです。InstagramなどSNSで「いいね」が欲しいために、わざとふざけた写真や倫理に反するような映像、動画までアップするようになってしまいました。本作ではこんな現代を風刺しながら、批評意識を持って詠み上げていると評価されました。

佳作

「スマホより わたしを見て！」と 彼女泣く

帯広畜産大学院 小麦の研究者さん

携帯で 知らぬ相手と 笑う君。

帯広農業高等学校 西家 龍誠さん

画面の奥 本当の君は、 どんな顔？

帯広農業高等学校 阪本 幸多さん